

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第1回中警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月21日（水） 午後3時から午後5時15分までの間 ----- 中警察署体育場
出 席 者	1 委員 香川 絢子 会長 高木 賢一朗 副会長 大場 剛 委員 千野 広仁 委員 市村 益生 委員 山本 恭久 委員 藤村 徹 委員 山名 孝也 委員 板尾 彩未 委員 名越 陽子 委員 神谷 昭一郎 委員 黒江 美咲 委員 以上12名（定数15名） ----- 2 警察署員 渡辺署長 岡崎副署長 松原警務課長 小野栄地区対策隊長 伊藤会計課長 加藤生活安全課長 中井地域課長 中田刑事課長 富田組織犯罪対策課長 成田交通課長 永井警備課長 以上11名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	自転車盗の被害防止対策
答 申 等 の 概 要	1 行政と連携した駐輪場に対する諸対策 2 視覚に訴えかける広報啓発の実施 3 自転車盗に対する罪の意識の定着化 4 自転車盗被害に関する具体的実例を活用した広報啓発の実施 5 外国人に特化した広報啓発の実施
そ の 他	次回開催予定日 令和6年5月下旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の伝達
2	会長、副会長の選出
	委員の互選により、香川委員を会長に選出し、会長は、高木委員を副会長に指名した。
3	会長挨拶
4	署長挨拶及び各種報告
	(1) 犯罪発生概要
	(2) 交通事故発生状況
5	前回答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	110番通報の適正利用
	(2) 答申事項
	ア あらゆる警察活動、SNS等を活用しての世代に合った広報啓発
	イ 行政等と連携した広報啓発
	ウ 緊急性のある通報と不要、不急な通報との境目の判断基準に重点を置いた広報啓発
	(3) 施策の推進状況(地域課長説明)
	ア 答申事項アについて
	(ア) 110番の日広報イベントにおける広報啓発
	(イ) 地下鉄駅員に対する不審者対応要領の教養における広報啓発
	(ウ) 高等裁判所主催の被告人逃走訓練における広報啓発
	(エ) 通り魔被疑者補足訓練における広報啓発
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(オ) マルシェイベントにおける広報啓発	
イ 答申事項イについて	
(ア) 管内女性団体の集会における広報啓発	
(イ) 小学校への広報資料の配布	
(ウ) 中学生の交番見学会における広報啓発	
(エ) 名古屋市発行の広報誌に広報文を掲載予定	
ウ 答申事項ウについて	
(ア) 交番広報紙を活用した広報啓発	
(イ) 小学生向けの広報紙を小学校に配布	
(ウ) スライド資料を活用した広報啓発	
6 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗の被害防止対策	
(2) 諮問事項の設定理由	
昨年中、中区内の刑法犯認知件数は、3,307件（前年比プラス471件）と、	
前年を大きく上回り、県内最多となった。	
特に自転車盗は、昨年中、1,052件（前年比プラス222件）と多発し、13	
年連続で県内最多を記録しており、被害防止対策の強化が求められている。	
そこで、自転車盗の効果的な被害防止対策について諮問する。	
7 協議	
委員 ・ 外国人のコミュニティを活用し、情報発信者として自国のSNS	
で広報啓発を行ってもらうことが外国人の自転車盗難被害防止に有	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
効であると思う。	
・ ワイヤー錠を自転車とセット販売するよう自転車販売店等に働きかけることも有効であると思う。	
委員	・ 例えばサドルやペダルを外すなど、自転車の施錠に加えて何ができるかを自転車業界を含めて考えていかなければならない。
委員	・ ハンドルロック式の自転車の購入を自転車メーカー等に推奨してもらいような働きかけができないか。
・ 最近は自転車に住所や氏名を記載しない人が増えたが、自分の自転車だと一目でわかるような目印をつけてもらうように働きかけたらよいと思う。	
委員	・ 行政と連携して駐輪スペースの整備を拡大し、きれいな街づくりをしていくことが自転車盗の減少につながっていくと思う。
委員	・ 自転車盗の被疑者の中には、足代わりを目的とする者と高価な自転車の転売を目的とする者がいると思うが、それぞれに合った対策をする必要性を感じる。
委員	・ 自転車所有者の危機管理意識が低いことも自転車盗難が多い要因にあると思う。
・ 自転車を盗もうとする者の心理に働きかけて、盗もうとする気持ちを抑制するような施策を継続してほしい。	
・ 自転車業界と連携して自転車盗に関する警告発信をするとよいと思う。	
委員	・ 日本は治安が良いと感じている外国人が多いと思うので、外国人
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	に向けて自転車盗が多発している事実を周知していく必要があると思う。
	・ 自転車にGPSを取り付けるなどの対策はあるが、まずは二重ロックを啓発していくことが大切だと思う。
委員	・ 盗難被害に遭わないような自己防衛意識の定着化が必要だと思う。
委員	・ 若者などが軽い気持ちで盗むことが多いと思うので、重大な犯罪だという罪の意識付けが必要だと思う。
	・ 二重ロックの効果に関するデータを取り、そのデータを自転車業界に提供することが二重ロックのさらなる推奨につながっていくと思う。
	・ 盗難防止の広報紙に文字が多いと読む気にならないと思うので、視覚に訴えるようなものを作成してほしい。
委員	・ 盗難被害者の協力を得て、盗難に遭った際の具体的な実例を調査し、その情報を広報啓発に活用できるとよいと思う。
	・ 有名な自転車競技選手などの盗難防止対策の話を広報啓発に活用できれば、より興味を引くことができると思う。
委員	・ 駐輪場に目立つ色ののぼり旗を設置して広報啓発するとよいと思う。
	・ デザイナーとの広報紙の共同作成を検討してみてはどうか。
	・ 防犯登録協会や自転車販売店と連携し、防犯登録をするとワイヤー錠が配布されるような仕組みがあればよいと思う。
委員	・ シェアサイクルがはやりつつあるが、そういった新たな流れにも
	記録者
	警務係長

